

大豆近況 VOL.175

関係部署にご回覧ください。

団体会員
一般会員 各位
賛助会員
協賛企業

令和5年7月7日
一般財団法人 全国豆腐連合会

「大豆近況」をお届け致します。是非、ご活用下さい。

○北米産大豆

6月のシカゴ相場(2023年7月限)は、\$13.29/bus近辺から始まり、最終的には月初よりも高騰し、\$15.57/bus程の引けという月となりました。主な要因は乾燥した天候の影響による米国内産大豆の作柄悪化、6月末に発表された米国内産大豆の四半期在庫及び作付け面積の発表が市場予想を下回ったためです。

米国農務省が6月9日に発表した2023/2024年度の米国大豆需給報告の詳細は下表のとおりとなっております。

2023/24年度 米国内産大豆 需給表

項目 / 発表月	①		②	
	2023年5月	2023年6月	② - ①	①
作付面積 (百万エーカー)	87.50	87.50	0.00	
収穫面積 (百万エーカー)	86.70	86.70	0.00	
差異 (百万エーカー)	0.80	0.80	0.00	
収穫率 (%)	99.09	99.09	0.00	
単収 (ブッシェル/エーカー)	52.00	52.00	0.00	
期初在庫予想 (百万t)	5.85	6.26	0.41	
生産量 (百万t)	122.74	122.74	0.00	
輸入量 (百万t)	0.54	0.54	0.00	
総供給量 (百万t)	129.14	129.55	0.41	
搾油用 (百万t)	62.87	62.87	0.00	
輸出 (百万t)	53.75	53.75	0.00	
種子用 (百万t)	2.75	2.75	0.00	
その他 (百万t)	0.68	0.68	0.00	
総需要量 (百万t)	120.05	120.05	0.00	
期末在庫 (百万t)	9.12	9.53	0.41	
在庫率 (%)	7.59	7.93	0.34	
農家平均価格 (\$/bu)	12.10	12.10	0.00	

供給面は期初在庫が増え、総供給量は 129.55 百万トンと上方修正、需要面の変化はなし。その結果、期末在庫は 9.53 百万トン、先月比 0.41 百万トンの上方修正となりました。この結果は相場にとって弱材料となりました。

また、米国産大豆の最新の生育進捗状況は下記のとおりとなっております。

2023 年産 米国産大豆 クロップレポート

項目	6月18日	6月25日	昨年同日	5年平均
作柄（良+最良）	54	51	65	-
発芽（%）	92	96	90	89
開花（%）	-	10	6	9

6月25日時点では、作付は完了しており、発芽、開花へと生育が進んでおります。

発芽は前週18日より4%進み、進捗率は96%となっております。昨年同日及び5年平均と比較すると約6%早く進んでおり、開花の進捗率は10%で、ほぼ同程度の進捗であると読み取れます。作付、発芽、いずれも昨年及び5年平均並みに進んでおりますが、先月の順調であった生育を考えると、下方修正されている状況であり、それが作柄(良+最良の合算値)の数値に表れております。作柄に関して、前週よりも3ポイント下がり、51ポイントとなっております。昨年同時期と比べると14ポイント低い結果となり、昨年よりも作柄が良くないことがわかります。作柄は大豆の収穫量に影響を及ぼしますので、今後の回復が望まれます。作柄悪化の背景には、天候が全般的に乾燥傾向、特に中西部は90%が乾燥していると言われております。今後、3か月の天候予報も乾燥傾向である見通しとなっており、相場には強材料な状況となっております。

6月30日に6月1日時点の米国穀物四半期在庫及び2023年産作付意向面積が発表されました。詳細は下記のとおりとなっております。

<四半期在庫報告>

USDA 23年6月1日時点 在庫数量 (百万ブッシェル)

	2023年6月1日	市場予想平均	予想レンジ	2022年6月1日
大豆	796	812	750-920	968
コーン	4,106	4,255	4086-4410	4,349
小麦	580	611	588-690	698

<作付意向面積発表>

USDA 作付面積 (百万エーカー)

単位： 百万エーカー	2023年産 作付面積	市場予想平均	予想レンジ	USDA 2月 Outlook	2022年産 作付面積
大豆	83.51	87.67	87-88.5	87.50	87.45
コーン	94.91	91.85	91-93	91.00	88.58
小麦	49.63	49.66	48.6-50.2	49.50	45.74

四半期在庫に関してですが、大豆は市場予想平均 812 百万ブッシェルに対して、796 百万ブッシェルと市場予想平均よりも 16 百万ブッシェル低い結果となりました。なお、前年同時期が 968 百万ブッシェルですので、前年よりも在庫が少ない状況であることがわかります。また 2023 年産作付意向面積に関して、大豆は市場予想平均 87.67 百万エーカーに対して、83.51 百万エーカーと 4.16 百万エーカー低い結果となりました。2022 年産は 87.45 百万エーカーでしたので、2022 年産よりも 3.94 百万エーカー減っているということがわかります。一方でコーンに関しては市場予想平均よりも高い結果となりました。これらの発表は大豆相場に関しては強材料となりました。

また、2023/2024 年度の世界大豆需給報告の詳細は下記表の通りとなっております。

2023/24年度 世界の大豆 需給表

項目 / 発表月		①	②	② - ①
		2023年5月	2023年6月	
世界大豆需給	期初在庫予想 (百万t)	101.04	101.32	0.28
	生産量 (百万t)	410.59	410.70	0.11
	輸入量 (百万t)	169.77	169.82	0.05
	国内消費 (百万t)	386.49	386.09	-0.40
	(内 国内搾油用 (百万t))	332.31	331.91	-0.40
	輸出 (百万t)	172.41	172.41	0.00
	期末在庫 (百万t)	122.50	123.34	0.84
	在庫率 (%)	31.70	31.95	0.25
主要輸出国 生産内訳	米国 (百万t)	122.74	122.74	0.00
	アルゼンチン (百万t)	48.00	48.00	0.00
	ブラジル (百万t)	163.00	163.00	0.00
	パラグアイ (百万t)	10.00	10.00	0.00
中国輸入量 (百万t)		100.00	100.00	0.00

先月比で供給面は期初在庫、生産量、輸入量が上方修正となり、需要面では国内消費が下方修正となった結果、期末在庫は 123.34 百万トンと先月比 0.84 百万トンの上方修正となりました。この結果は相場にとって弱材料となりました。

ブラジル・アルゼンチンに関して、5 月の時点で発表されたブラジルの順調な収穫、アルゼンチンの大幅な収穫遅れの影響は織り込み済で、6 月の発表では変更点はなしという結果となりました。しかし、アルゼンチンに関して生産量が 21 百万トンまで下方修正されるような情報が出回っているため、今後の発表に関して注視が必要です。

南米の大豆を取り巻く環境以外で相場に影響を与える要因として、中国を中心とした世界需

要があります。7月3日発表の米国大豆週間輸出成約高の累計は49百万トンと前年52百万トンと比較すると、進捗状況は遅れている状況である事が分かります。またロシア・ウクライナの国際情勢等も相場へ影響を与える場合がありますので、引き続き注意が必要と思われます。

北米産大豆の入港状況は、米西海岸からの配船は安定してきたものの、大豆産地からの貨車輸送はまだ安定したとは言い切れない状況です。また、海上運賃はピークを脱しており、徐々に下落している傾向です。

○為替相場

6月の円相場は、1ドル138円後半から始まりました。6月13日、14日に開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)の会合で政策金利の据え置きが全会一致で決定されたものの、FOMCの政策金利見通では、2023年末の水準は3月時点の5.1%から5.6%と0.5ポイント上方修正されており、年内2回の追加利上げが想定されていることを受けドル買いが進みました。米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長からは21日と22日に開催された、上下両院公聴会で、2%のインフレ目標達成には長い道のりであること、緩やかな金融引き締めが必要との見解を改めて伝えたことから、年内2回の追加利上げを想定したドル買いが更に進み、最終的には1ドル144円前半で引けという月になりました。米国のインフレ状況・政策金利の動向等により、今後も為替は大きく変動し易い状況であり、他国の情勢だけではなく日本銀行の金利政策の方針にも注視する必要があります。

○国産大豆

令和4年産 国産大豆収穫後入札会の第七回目が2023年6月14日に行われました。結果は次ページのとおりとなっております。(「-」は前月に上場されていないため、比較対象がないという意味になります。)

令和5年 6月の入札取引結果(普通大豆)

産地	粒別	品種銘柄	上場数量 (60kg換算)	落札数量 (60kg換算)	平均落札価格 (円/60kg)	前月との比較	
						5月 平均落札価格 (円/60kg)	6月 - 5月 平均落札価格 (円/60kg)
北海道	大粒	とよまさり	24,600.0	22,620.0	8,887	10,117	-1,230
	中粒	とよまさり	2,640.0	1,980.0	9,733	9,931	-198
	小粒	スズマル	495.0	-	-	8,010	-
	極小粒	スズマル	165.0	165.0	10,100	9,850	250
	小粒	ユキシズカ	2,970.0	2,970.0	8,479	8,550	-71
岩手	大粒	リュウホウ	1,320.0	1,320.0	8,434	9,505	-1,071
宮城	大粒	ミヤギシロメ	356.0	356.0	11,684	11,763	-79
	中粒	ミヤギシロメ	340.0	340.0	10,240	11,110	-870
	大粒	タチナガハ	696.0	531.0	9,270	10,435	-1,165
秋田	大粒	リュウホウ	1,650.0	1,650.0	8,214	9,117	-903
	中粒	リュウホウ	1,155.0	1,155.0	7,966	8,458	-492
山形	大粒	里のほほえみ	1,650.0	1,320.0	9,140	9,454	-314
	大粒	リュウホウ	350.0	350.0	8,310	8,700	-390
	中粒	リュウホウ	195.0	195.0	8,160	8,865	-705
	大粒	エンレイ	180.0	180.0	9,450	9,400	50
	中粒	エンレイ	390.0	390.0	8,500	8,567	-67
福島	大粒	里のほほえみ	825.0	165.0	7,740	8,325	-585
茨城	大粒	里のほほえみ	2,145.0	825.0	7,830	9,922	-2,092
	小粒	納豆小粒	495.0	-	-	-	-
	極小粒	納豆小粒	330.0	-	-	-	-
栃木	大粒	里のほほえみ	2,145.0	2,145.0	8,542	9,331	-789
群馬	大粒	里のほほえみ	425.0	-	-	8,030	-
	大粒	ハタユタカ	66.0	-	-	-	-
	中粒	ハタユタカ	4.0	-	-	-	-
新潟	大粒	里のほほえみ	662.5	662.5	8,806	9,440	-634
	大粒	エンレイ	165.0	165.0	9,200	11,570	-2,370
	中粒	エンレイ	495.0	495.0	7,720	8,030	-310
福井	大粒	里のほほえみ	330.0	330.0	8,220	-	-
長野	大粒	ナカセンナリ	825.0	825.0	8,410	8,665	-255
	中粒	ナカセンナリ	165.0	165.0	7,810	-	-
岐阜	中粒	フクユタカ	799.0	634.0	7,510	11,940	-4,430
		その他	1,155.0	-	-	-	-
愛知	中粒	フクユタカ	1,155.0	1,155.0	7,510	-	-
三重	中粒	フクユタカ	461.0	461.0	7,876	-	-
		その他	398.5	-	-	-	-
滋賀	大粒	オオツル	165.0	165.0	9,870	9,795	75
	中粒	オオツル	330.0	330.0	8,670	9,410	-740
	大粒	ことゆたか	2,145.0	330.0	8,470	8,865	-395
	大粒	フクユタカ	165.0	165.0	11,010	9,720	1,290
	中粒	フクユタカ	1,155.0	495.0	7,693	9,523	-1,830
山口	大粒	サチユタカ	165.0	165.0	8,720	9,645	-925
	中粒	サチユタカ	165.0	165.0	8,140	9,470	-1,330
愛媛	中粒	フクユタカ	330.0	165.0	7,510	-	-
福岡	大粒	フクユタカ	160.0	160.0	11,850	13,580	-1,730
	中粒	フクユタカ	359.0	359.0	11,665	12,765	-1,100
		その他	720.0	720.0	7,850	9,887	-2,037
佐賀	中粒	フクユタカ	330.0	330.0	12,450	-	-
		その他	210.0	210.0	8,030	-	-
熊本	大粒	フクユタカ	165.0	165.0	13,050	13,357	-307
	中粒	フクユタカ	1,785.0	1,785.0	11,105	12,343	-1,238
大分	大粒	フクユタカ	330.0	330.0	12,680	12,680	0
	中粒	フクユタカ	330.0	330.0	12,380	12,410	-30
全国			61,207.0	49,918.5	8,917	9,766	-849

前月と比較すると全国平均は、約¥850/60kg 下がり、¥8,917/60kg と大きく下落しました。中身を見ると、一部を除き、大半の品種が先月よりも価格が下落していることから、品種問わず、国産大豆全体の需要が落ちていることが予想されます。

次回、第八回の収穫後入札会は2023年7月19日(水)実施予定となっており、約2,200トンの上場が予定されております。次回で令和4年産国産大豆収穫後入札は最終となります。先月に引き続き、今月も下落している点を踏まえると、最後の収穫後入札会も軟調な結果となると予想されます。

現在、令和5年産国産大豆の播種、生育が進んでおります。現時点では全国的に播種や生育が大幅に遅れているような産地はなく、概ね順調に進んでいるものと思われまますので、現状、相場に影響を与えるような天候状況ではないと思われまます、引き続き、今後の生育状況に注視が必要です。

以上